

成績評価の適切な実施に係る取組の概要

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者等宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、「秀・優・良・可・不可」の5種で判定し、「秀・優・良・可」を合格（認定）とし「不可」は不合格（不許可）とする。また、授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP（Grade-Point）を与える。

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0

- (2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。
- (3) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「秀・優・良・可」を取得した学生には所定の単位を与える。
- (4) 学校が必要と認めた場合に限り、追試験または再試験などを実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
- (5) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

客観的な指標（G P A）の算出方法

- (1) 指標

成績評価における客観的な指標として、G P A（Grade Point Average）を用いる。

- (2) 成績評価と G P

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、上記のとおり G P（Grade-Point）を与える

- (3) 相対評価により成績順位をつける場合には G P A を用い、順位づけの範囲は「学科」とする。

- (4) G P A 算出方法

$$G P A = \frac{(\text{履修科目の G P} \times \text{履修単位数}) \text{ の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

G P A の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)